

■【トピックス】

悪い円安！



円安が止まりません。ロシアがウクライナに侵攻して以来、安全通貨であると思われていた円がすべての通貨に対して安くなっています。貿易収支が大幅な赤字の中での通貨安は経済に悪影響を及ぼす悪い円安です。

インフレ傾向が顕著な米国ではFRBが利上げしています。しかし、本来金利を上げるべき日銀は金融緩和を継続して円安傾向を増長しています。円安不況訪れることが想定されます。

■【今月のキーワード】

改正個人情報保護法

個人情報保護法は、いわゆる3年ごとの見直し規定(附則第12条)により見直しが行われます。今回の改正では、個人情報への意識の高まり、技術革新を踏まえた保護と利活用のバランス、越境データの流通増大に伴う新たなリスクへの対応等の観点から①個人の権利の在り方、②事業者の守るべき責務の在り方、③事業者による自主的な取組を促す仕組みの在り方、④データの利活用に関する施策の在り方、⑤ペナルティの在り方、⑥法の域外適用・越境移転の在り方、などが見直されました。

■【ビジネス・アイ】

改正個人情報保護法！

- 社長 「ウクライナの戦争がなかなか止まらないね」  
 花野 「そうですね。21世紀に大国が侵略戦争を行うとは想像もできなかったですね」  
 社長 「コロナも収まらない中でこれから世界はどうか不安だよ」  
 花野 「本当にそうですね」  
 社長 「ところで、最近プライバシーポリシーを見直したというメールがやたらと来るんだけど、どういうことかなあ？」  
 花野 「あれはですね。3年ごとに見直される個人情報保護法が4月から施行されたからなんですよ」  
 社長 「そうなんだ！だから一斉にメールが来たんだね。具体的には何がか変わったのかなあ？」  
 花野 「個人情報を漏洩した場合に個人情報保護委員会への報告や本人への通知が義務になったり、外国にある第三者へ個人情報を提供する場合の本人への情報提供の充実や罰則の強化などより規制が厳しくなっています」  
 社長 「どうして、規制が厳しくなったのかなあ？」  
 花野 「背景には、個人情報の漏洩事件などによる個人情報に対する意識の高まりや、技術革新を踏まえた個人情報データの利活用や個人情報の海外への越境問題などがありますね」  
 社長 「うちの会社でも対処すべきことがありそうだね」  
 花野 「とりあえずは、個人情報に関する社内規程やプライバシーポリシーの見直しを行う必要がありますね」

■【今月の1冊】

『物語ウクライナの歴史』

黒川 祐次 著  
 中公新書 ¥860

ロシアがウクライナに侵攻しましたが、歴史的に近い関係といわれる両国です。ロシアの大義はよくわかりません。

民族的には近い関係にありますが、その歴史は複雑です。この地域は何千年も前から民族の通り道となっています。様々な民族が時に入り交じり重なり合い一筋縄ではとても語りつくせない歴史がそこにありました。



■【編集後記】

ニュースでは毎日ウクライナでの戦争が報じられています。平和な日本ですがウクライナと同じようにロシアと国境を接しています。戦争は決して他人ごとではないと感じます。日本に何ができるのか真剣に考える時期なのかもしれませんね。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.182(毎月1日発行)

- 定価：2,400円/年 ●発行日：2022.5.1 ●発行人：花野康成
- 編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア
- 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F
- TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808